

豊島区 基本計画

TOSHIMA CITY MASTER PLAN

2022-2025

[令和4~7年度]

概要版

誰一人取り残さない
誰もが主役になれるまち



国際アート・カルチャー都市
SDGs未来都市



CONCEPT

豊島新時代、飛躍の時へ

誰一人取り残さない、誰もが主役となれるまち





区長挨拶

MESSAGE

日本のSDGsの推進を担う、 “国際アート・カルチャー都市” の実現に向けて

この基本計画は、「SDGs未来都市としま」として、SDGsを先導するモデル自治体としての責務を積極的に果たすとともに、令和4年の豊島区制施行90周年の節目を迎えるにあたり、次なるゴールである区制施行100周年に向けた豊島新時代を切り拓くための羅針盤となるものです。

豊島区の強みである「オールとしま」で、日本をリードする「国際アート・カルチャー都市」としての未来を、一緒に切り拓いていきましょう。

豊島区長

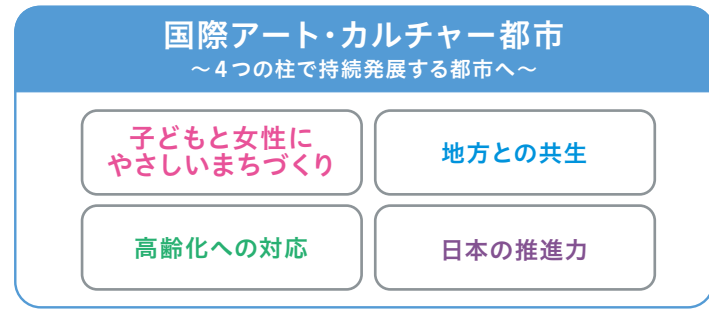
高野之夫



都市消滅の危機から持続発展都市への歩み

過去から学び、あらゆるピンチをチャンスに変え、

様々な行財政改革や文化を基軸としたまちづくりで財政破綻の危機を乗り越え、2013年度末に財政黒字を実現した豊島区。2014年には東京23区で唯一「消滅可能性都市」との指摘を受け、これを機に、持続発展する「国際アート・カルチャー都市」を目指して様々な施策を展開。2019年には、国家的文化交流事業「東アジア文化都市」を開催するとともに、23のまちづくり記念事業を実施。これら一連の取組が、東京初の「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」ダブル選定の土壌となっています。豊島区はこれから、区制施行90周年、そして100周年に向け、誰一人取り残さない、誰もが主役になれる、「豊島新時代」を切り拓いていきます。



持続発展都市へ

- 豊島区国際アート・カルチャー都市構想策定(2015年3月)

2014 消滅可能性都市の指摘



区制施行100周年に向け、豊島新時代を切り拓く

東京初のSDGsダブル選定、基礎自治体初の文化記念日

- SDGs未来都市、自治体SDGsモデル事業ダブル選定
- としまSDGs都市宣言
- としま文化の日条例制定

世界へ大きく躍進、国家的文化プロジェクト

- 東アジア文化都市2019豊島開催
- 23のまちづくり記念事業実施



2022

区制施行90周年

2030

2032

区制施行
100周年

2020

コロナショック



国際アート・カルチャー
都市としま



SDGs未来都市
としま



豊島区新庁舎



東アジア文化都市2019豊島開幕式典



都市のイメージを刷新した23のまちづくり事業

東アジア文化都市2019豊島まちづくり記念事業

計画の目的等と計画期間

豊島区では、平成15(2003)年3月に、21世紀の第1四半世紀を期間とする区政運営の最高指針として「豊島区基本構想」(以下「基本構想」といいます。)を策定(平成27(2015)年3月改定)し、目指すべき将来像として「未来へひびきあう人まち・としま」を掲げました。

豊島区基本計画(以下「基本計画」)は、区の計画体系の最上位に位置する区政運営の基本指針であり、計画期間内に取り組む施策を体系的に示し、区の各分野における計画を総合的に調整するものです。

豊島区は、平成28(2016)年に策定した基本計画の中で、基本構想の将来像から導かれた都市像である「国際アート・カルチャー都市」を目標に据え、着実に歩みを進めてきました。

将来像

「未来へひびきあう人まち・としま」

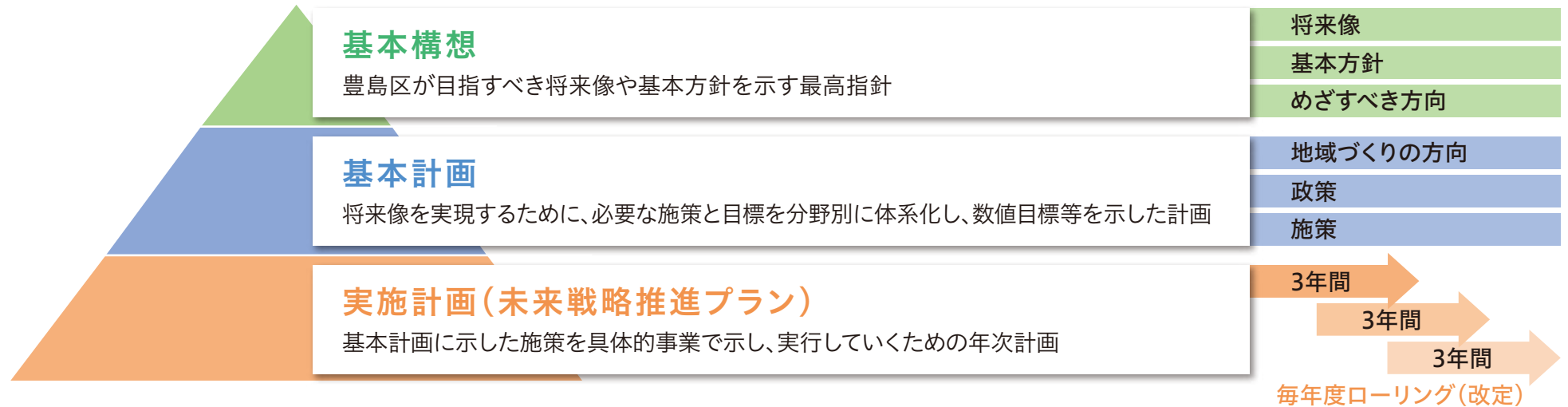
一方で、策定時から6年が経過し、コロナ禍、デジタル技術の進歩、SDGsの推進など、社会状況は大きく変化しています。そこで、令和4(2022)年度から令和7(2025)年度までの後期4か年について、計画の見直しを行います。この見直しは、新しい時代の中で自律的で持続的な社会の創成を目指しつつ、豊島区が首都東京において魅力ある個性と存在感を発揮し、SDGs未来都市としての責任を果たすことにより、未来への信頼をさらに高めるために行うものです。

[全体計画期間] 平成28年度から令和7年度の10か年 [後期計画期間] 令和4年度から令和7年度までの4か年



計画の位置づけと構成

計画の位置づけ

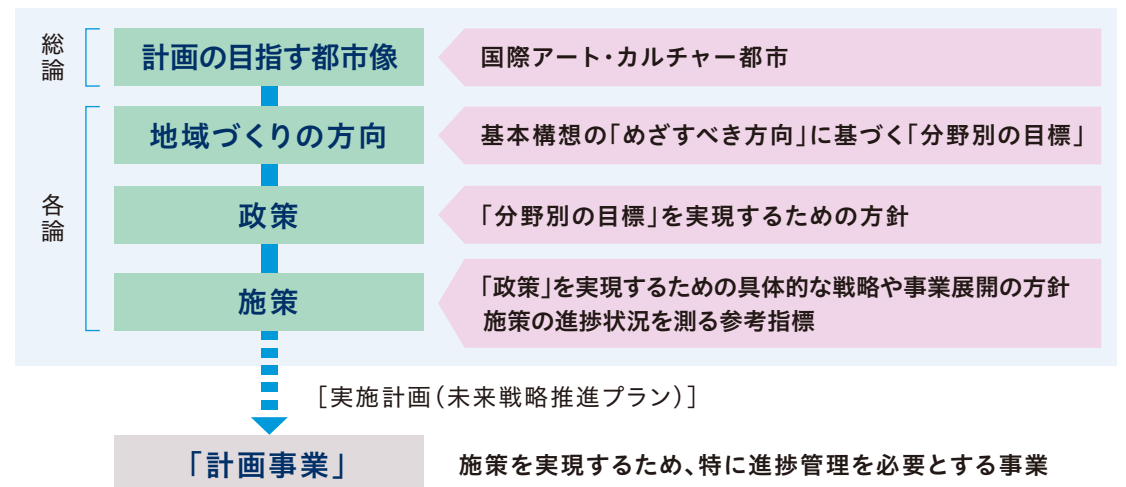


計画の構成

基本計画は第1編「総論」と第2編「各論」で構成されています。

「総論」では、区の現状、社会変化の潮流、人口の推移と予測、財政の状況、計画の目標とする豊島区の都市像などを示しています。

「各論」では、基本構想が示す地域づくりの方向ごとに、政策・施策を8つの分野に分けて体系的に示すとともに、各施策における目指すべきまちの姿と取組方針、行政経営のあり方を明らかにしていきます。また、施策ごとに進捗状況を測る参考指標を設定し、その実効性を確保しています。

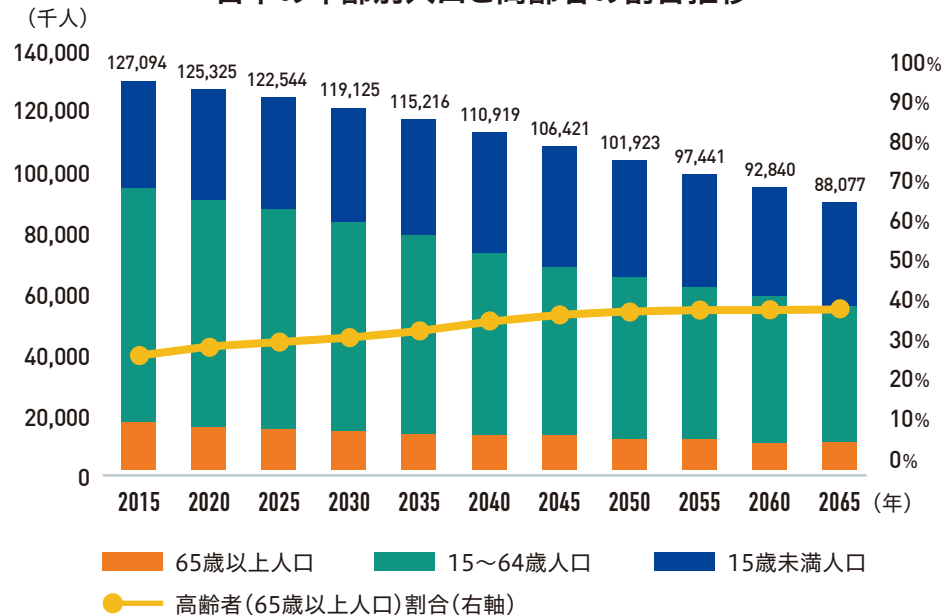


社会の動向

1 人口減少社会と超高齢化

日本の総人口は平成20(2008)年をピークに減少が続いています。高齢者の人口は令和24(2042)年まで増加し続け、特に後期高齢者の占める割合が増える見込みです。豊島区でも、少子高齢化や単身世帯の増加傾向がさらに進むと考えられます。こうした人口構造の変化は、社会保障をはじめ、地域社会そのものにも影響を及ぼします。

日本の年齢別人口と高齢者の割合推移



グラフ：総務省人口推計(各年10月1日現在人口)／国立社会保障・人口問題研究所(平成29年推計公表資料)より作成

2 新型コロナウイルスの影響とニューノーマル

感染拡大を受け、ステイホームや人・物との接触を避ける生活、リモートワークをはじめとする遠隔コミュニケーションなど、新しい日常(ニューノーマル)への移行が進んでいます。今後は感染症対策を強化するとともに、デジタル技術などを活用し、新たな社会経済活動に対応する必要があります。

3 気候変動による危機と頻発化する大規模災害

今後、地球温暖化が進めば世界中が危機に陥ると考えられます。一方で、国内では平成23(2011)年3月に発生した巨大地震をはじめ、大規模地震や集中豪雨などの災害が頻発。豊島区でも首都直下地震や南海トラフ巨大地震に備えるとともに、脱炭素化や自然災害対策に取り組むことが求められています。

4 SDGs(持続可能な開発目標)

平成27(2015)年9月、国連サミットで採択されたSDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)。令和12(2030)年までに達成すべき17のゴール・169のターゲットが設定され、“誰一人取り残さない”ことを基本理念として掲げています。近年は民間企業など、多くの組織がSDGsのゴール達成に向けた取組を開始。豊島区は令和2(2020)年、「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に東京初でダブル選定され、他都市のモデルとなるまちづくりが求められています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



5 多様性の尊重

グローバル化が進む中で、人々が違いを認め合い、個性や人権を尊重して暮らせる地域社会づくりが必要です。豊島区は平成31(2019)年、国家的文化交流事業「東アジア文化都市」を開催。今後は、国際文化都市として、多文化共生の推進が求められています。



6 DX(デジタル・トランスフォーメーション)

デジタルの力で業務・組織のあり方やサービスを変革し、よりよい社会を目指す考え方をDXといいます。令和2(2020)年9月のデジタル庁設立やコロナ禍の影響を受け、あらゆる分野でDXの進展が期待されています。



豊島区の状況

将来人口

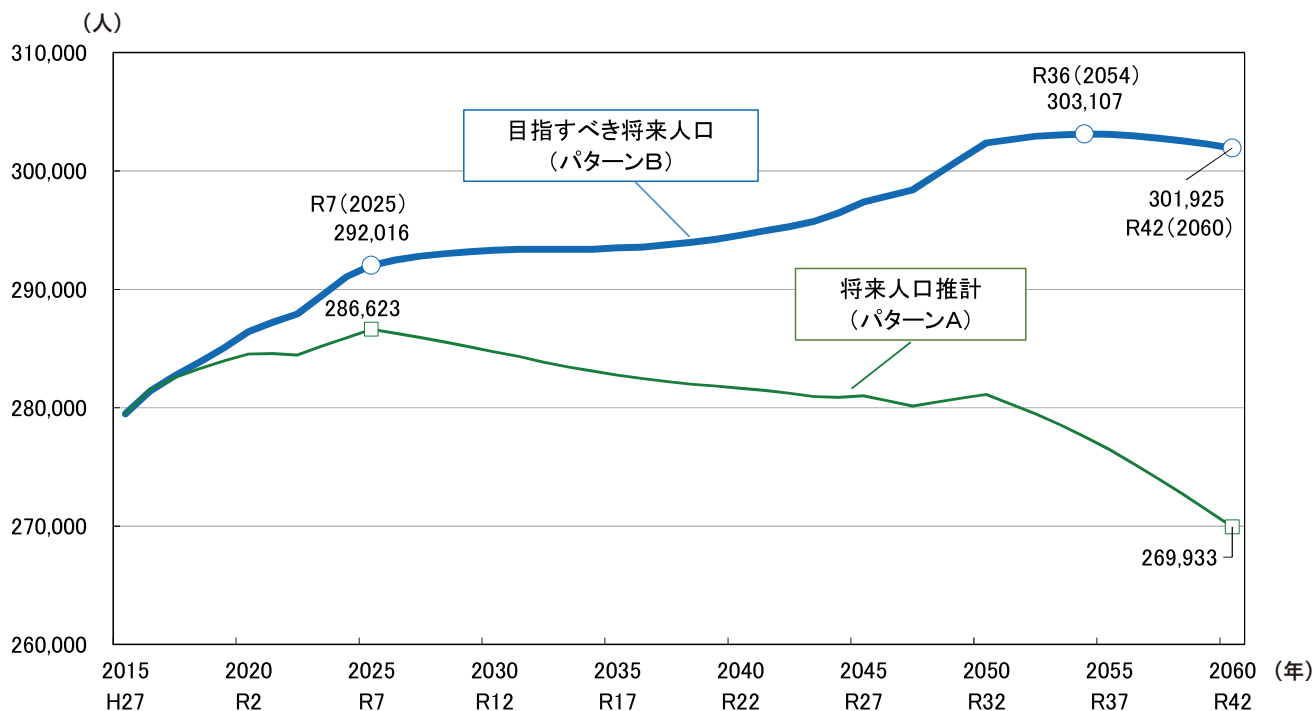
「豊島区基本計画2016-2025」(以下「前期計画」)策定時、住民基本台帳のデータに基づき将来人口を推計しました。令和2(2020)年以降はコロナ禍の影響で不確実性の高い人口動態が続いているため、今回の見直しにあたっては推計の見直しを行わず、前期計画の考え方を踏襲するものとします。

パターンA

国立社会保障・人口問題研究所の推計方法を参考に、人口減少が進行し、地方からの人口流入が見込めない場合の将来人口を算出。総人口は令和7(2025)年から減少し、令和42(2060)年には現状より約1万人少なくなります。また、高齢者人口割合は令和7(2025)年の約20%から令和42(2060)年には約31%まで増加する推計結果です。

パターンB

子育て支援や安全・安心なまちづくりなど、様々な施策によって社会移動率の縮小期間の変更及び出生率が向上した場合の将来人口を算出。総人口は増加傾向が続き、令和7(2025)年に約29万2千人、令和36(2054)年のピークを経て、令和42(2060)年には約30万2千人を維持。この推計結果を豊島区の目指すべき将来人口とします。



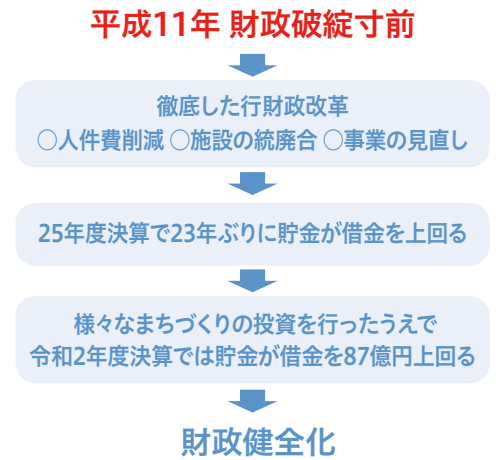
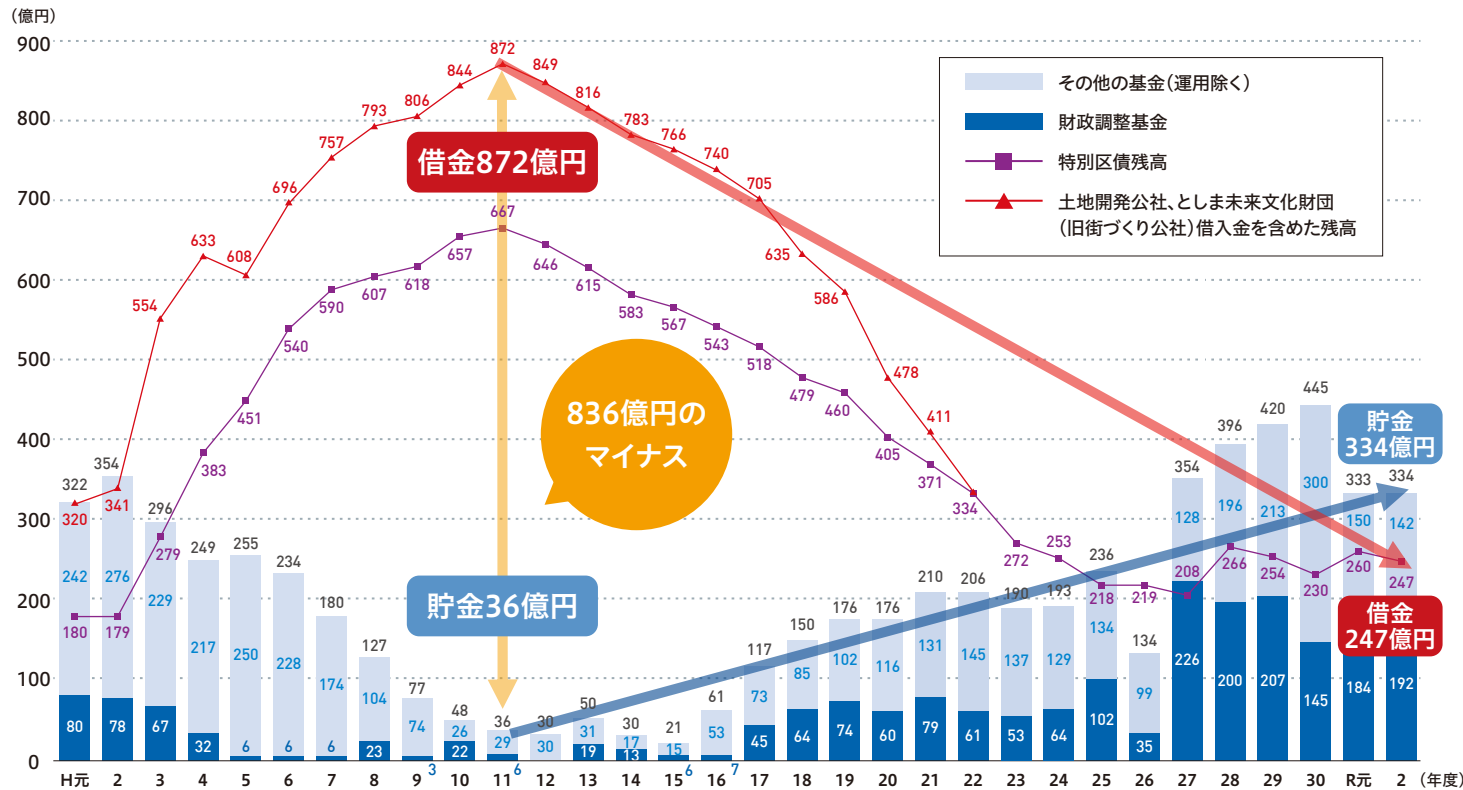
財政状況

財政健全化への道のり

平成11(1999)年度末の時点で、豊島区は836億円の借金超過に陥っていました。そこで人件費の削減や公共施設の統廃合、事業の見直しなど、徹底した行財政改革を実施。平成25(2013)年度末には23年振りに財政黒字に転じ、危機を脱することができました。平成27(2015)年度以降は、貯金が借金を上回る状況が続いています。

ウイズコロナ・アフターコロナにおける財政運営

令和3(2021)年度現在、コロナ禍による景気の悪化が区財政に影響を及ぼすことが懸念されています。歳入の減少、義務的経費の増加、新型コロナウイルス対策の経費支出が見込まれる中においても、持続可能な財政基盤を維持していくため、貯金と借金のバランスを考えた計画的な財政運営を行っていきます。



	平成12年度	令和2年度
職員数	2,899人	2,013人
人件費	282億円	240億円
人件費比率	32.6%	15.9%

	平成11年度決算	令和2年度決算
人口	24.8万人	28.7万人
区民一人当たり	借金33.6万円	貯金3.0万円
経常収支比率	99.5%	85.9%
公債費比率	14.0%	4.1%

豊島区が目指す都市像「国際アート・カルチャー都市」

豊島区は、基本構想で掲げる将来像の実現に向けて、日本の推進力となる「SDGs未来都市」としての発展を通して、さらなる輝きを放つ「国際アート・カルチャー都市」を、目指す都市像とします。

「国際アート・カルチャー都市」とは、福祉や子育て、教育、安全・安心のまちづくりなどを基礎としたうえで、多様な文化を享受し合い、人や文化が交わるにより新たな価値を生み出し、世界中の人々を魅了し続ける、にぎわいあふれる“ひと”が中心の誰もが主役になれるまちの姿です。

目指す都市像

国際アート・カルチャー都市

～まち全体が舞台の 誰もが主役になれる 劇場都市～

日本の推進力となる「SDGs未来都市」としての発展

3つの視点で戦略的にバージョンアップ



安心戦略

成長戦略

福祉

健康

子育て

教育

コミュニティ

防災・治安

文化

産業・観光

環境

都市再生

安心戦略・成長戦略

都市像の実現に向けて、「安心戦略」と「成長戦略」の好循環により都市基盤を支え続けるとともに、新たな社会課題の解決に向けて、「SDGsの推進」、「DXの推進」、「参画と協働」の視点からすべての施策をバージョンアップさせます。

これにより、地域の持つ力と魅力を最大限に引き出し、まちの価値を向上させ、経済力を高めるとともに、地域への誇りと愛着を醸成し、「住みたい、住み続けたい、訪れたい」と思える持続発展するまちを目指します。

安心戦略

「福祉」「健康」「子育て」「教育」「コミュニティ」「防災・治安」の施策を「安心戦略」として位置づけ、サービスの質の向上に努めることによって、区民の皆さんが安全に暮らせることを確信し、安心を実感できる「さらに安全・安心なまち」を築いていきます。



成長戦略

「文化」「産業・観光」「環境」「都市再生」の施策を成長戦略として位置づけ、政策間の連携を深めつつ、価値あるまちづくりに取り組むことで、地域の個性あるにぎわいや多様なコミュニティと未来を担う人を育て、郷土の誇りやシビックプライドを高めていきます。



バージョンアップの視点

今回の見直しにあたっては、「新型コロナウイルスの影響とニューノーマル」「気候変動と頻発化する大規模災害」「多様性の尊重」といった社会変化への対応を図る必要があります。その際、SDGsやDX(デジタル・トランスフォーメーション)という新たな視点を取り入れ、最大限に活用することが求められています。また、従来から地域経営の基本としている「参画と協

働によるまちづくり」は、あらゆる分野で重要性が高まっています。

この基本計画では、新たな社会課題への対応とコロナ禍からの持続的な回復(サステナブル・リカバリー)に向け、以下に掲げる3つの考え方を軸にあらゆる施策のバージョンアップを行い、さらなる輝きを放つ「国際アート・カルチャー都市」を目指すものとします。



SDGsの推進



東京初の「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」認定都市として、他都市のモデルとなるべく、SDGs達成に向けたアクションが求められています。

あらゆる政策・施策にSDGsの内容を浸透させるとともに、経済・社会・環境の相乗効果と自律的好循環が生まれる持続可能なまちづくりを推進します。



DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進

近年、モノやサービスの生産性・利便性の向上や、コロナ禍で移行が進んだニューノーマル(新しい日常)への対応が強く求められています。

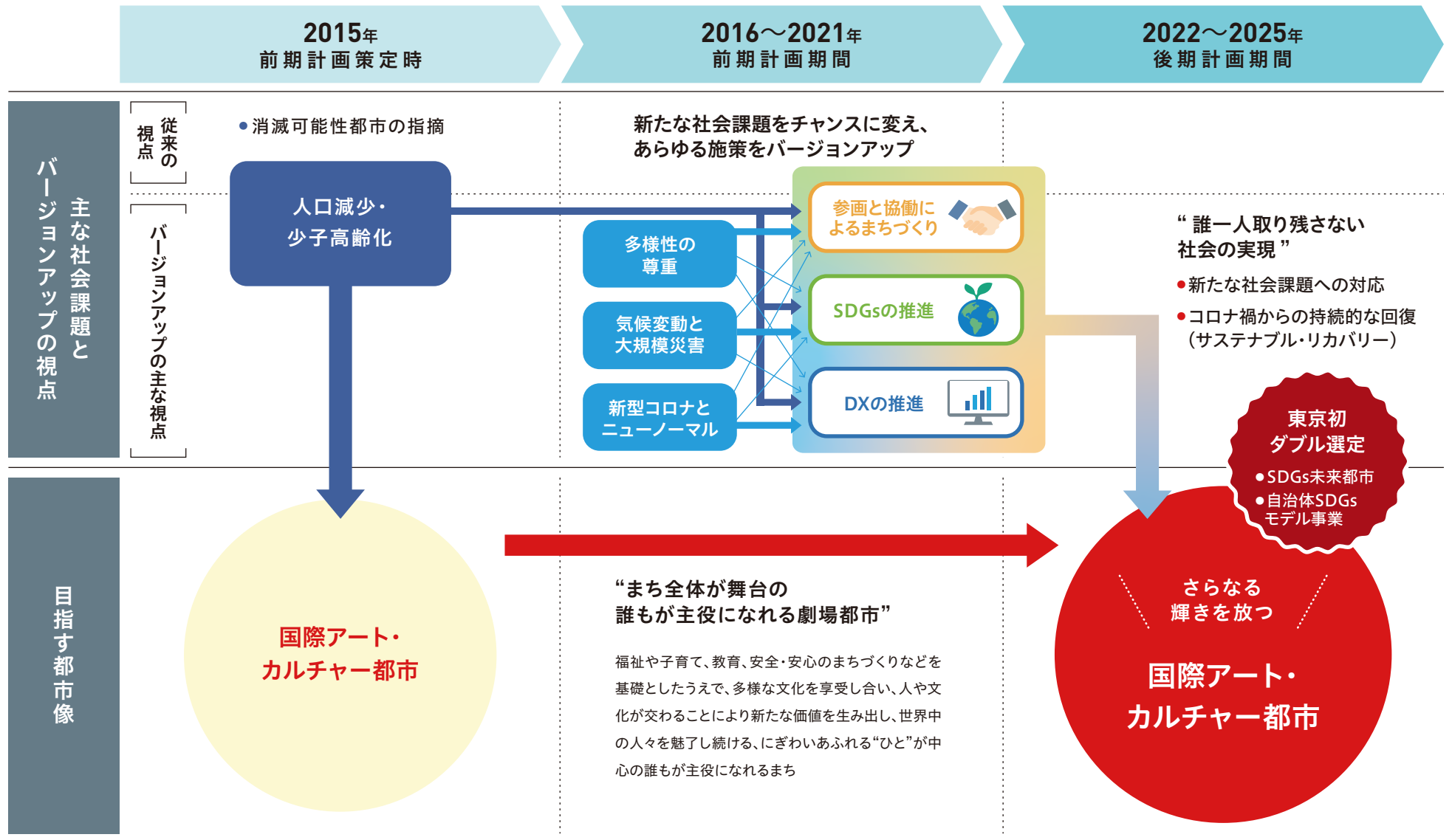
豊島区は、あらゆる分野でデジタル技術の積極的な活用を進め、多様な幸せや人としての豊かさを実感できる「人にやさしいデジタル化社会」を目指します。



参画と協働によるまちづくり

豊島区は従来から参画と協働によるまちづくりに力を入れてきました。

外国人住民の増加や多様性の尊重といった社会状況の変化への対応を図るとともに、「共創」の概念を取り入れ、あらゆる主体がパートナーとして地域課題を解決し、新たな魅力や価値を創出する社会の構築を目指します。



SDGsの推進

「誰もが主役になれる」まちを目指す国際アート・カルチャー都市と、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すSDGsは、まさに同じ方向を目指すものです。豊島区は東京初の「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」認定都市として、他都市のモデルとなるべく、あらゆる施策にSDGsの理念や内容を取り入れていきます。

各施策において主として意識するゴールを設定するとともに、絶えず新た

な可能性や連携を意識して事業内容の見直しを行います。また、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」の推進にあたり、あらゆる人の区政への参画や公民連携のまちづくりを意識するものとします。

さらに、自治体SDGsモデル事業として「公園を核にしたまちづくり」を展開。経済・社会・環境の相乗効果と自律的好循環を生み出す、高密都市における新たなSDGsモデルを構築します。

モデル事業①

池袋駅周辺の4公園を核にした、まちづくり

- 個性ある4つの公園の運営団体(エリアマネジメント組織)を連携させることで「新たな交流、表現、にぎわい」を創出
- 電気バスで各拠点を回遊、サポーター企業と共同イベント実施

2019年11月 オープン
池袋西口公園
GLOBAL RING

2019年9月 オープン
中池袋公園

2020年12月 全面オープン
としまどりの防災公園
IKE・SUNPARK

2016年4月 オープン
南池袋公園

真っ赤な電気バスが
公園と人と未来をつなぐ!

モデル事業②

暮らしの中にある小さな公園の活用

- 地域住民と地域特性を生かした活用方法を検討・実践
- 企業と連携し、その強みを生かして、モデル公園を区内全域へ拡大

地域とともに。
「ともに育つ公園」を区内全域へ

地域住民とともに活用方法を検討・実施

公園をみんなで育てよう
井戸端かいぎ

移動式ツールの活用

飲食販売兼本棚等を
搭載したトラック

企業との連携
(FFパートナーシップ協定)

花壇づくり
ワークショップ

みんなでつくる
アートトイレ

SEIWA 西武
Sunshine City
自由学園明日館
LUMINE
ISP 稲人之支援
TOBU
日本児童福祉会
良品計画
東京第一友の会



SDGsに関する 主な取組

経済的困窮



- 経済的に困難を抱える人への支援
- としま子ども若者応援プロジェクトの推進

栄養状態



- ころもからだの健康づくりの推進
- ファーマーズマーケットでの食材の提供

福祉・健康



- 総合高齢社会対策プロジェクトの推進
- 待機児童ゼロ。切れ目のない子育て支援

教育



- すべての子どもが自分らしく育つ環境づくり
- 多様な学習活動の支援と学びの循環の創造

ジェンダー



- あらゆる分野での男女共同参画社会の実現
- 女性が輝くまちの推進

水・トイレ



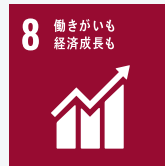
- パブリックトイレやアートトイレによる魅力向上

ゼロカーボン



- IKEBUSの活用促進
- ゼロカーボンシティ推進

働き方・観光



- 池袋副都心や活力ある地域拠点の再生
- マンガアニメ等としまオンラインワンブランド発信

産業・起業



- 地域産業の活性化
- 新たな価値を生むビジネス展開の支援

機会均等



- 多様性・寛容性の高い多文化共生の推進
- としまキッズパークなどインクルーシブな取組

まちづくり



- 人が主役のウォークラブルな都市空間の形成
- 区民ひろばでの世代を超えた交流活動

3R



- 3Rの推進啓発
- 責任ある消費活動の普及啓発

気候変動



- ゼロカーボンシティ推進
- 複合災害への対応等災害に強いまちづくり

海洋生態系



- 3Rの推進啓発
- 新制度によるプラスチック資源の分別収集

陸上生態系



- グリーンとしま再生プロジェクトの推進
- みどりあふれる地域とともに育つ公園づくり

治安・適正手続



- セーフコミュニティ、安全安心まちづくり
- 平和や人権に関する意識の向上

参画・協働



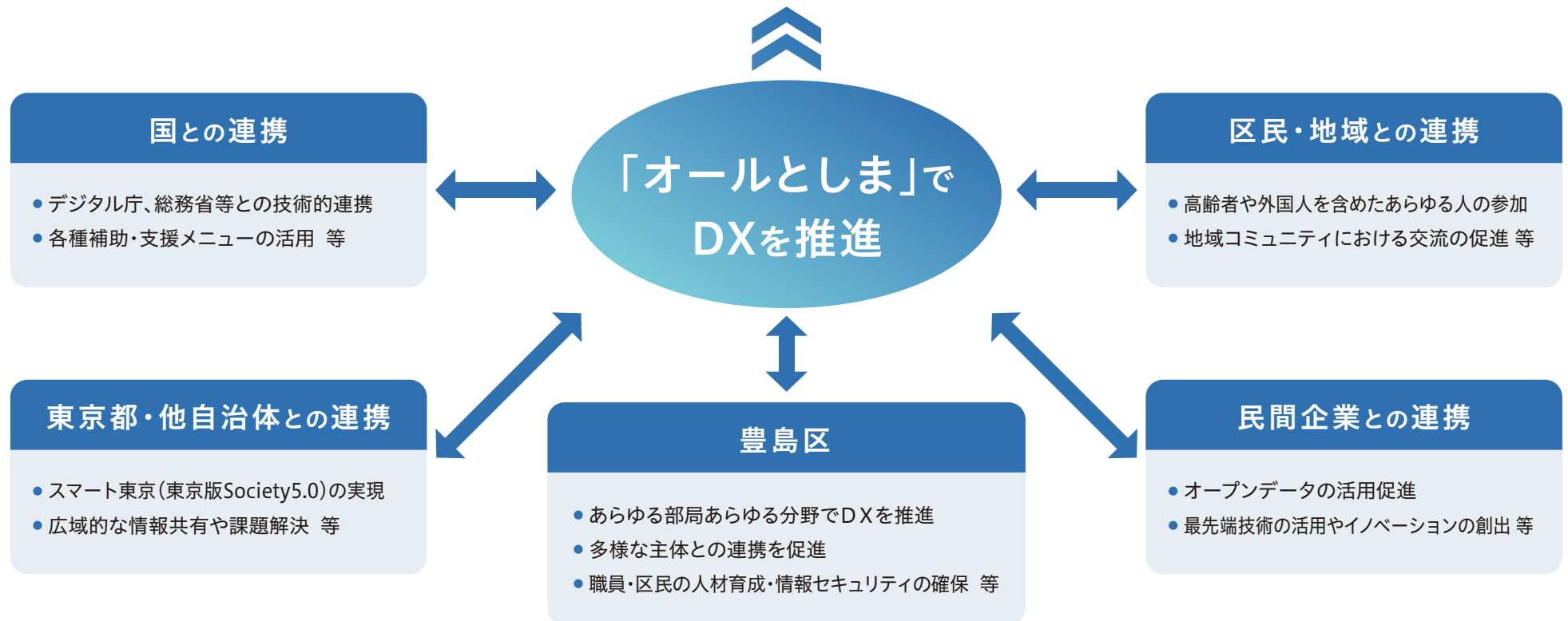
- 女性、障害者等あらゆる人の区政への参画
- 公民連携オールとしまでSDGsの実現

DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進

あらゆる分野におけるデジタル技術の積極的な活用をオールとしまで推進し、サービスの生産性や利便性を飛躍的に高め、区民が安全・安心に暮らし、多様な幸せや人としての豊かさを実感できる「人にやさしいデジタル化社会」を目指します。

誰一人取り残さない 誰もが主役になれる「国際アート・カルチャー都市」

あらゆる人・あらゆる世代がデジタル化の恩恵を享受できる“人にやさしいデジタル化社会”の実現



分野ごとの取組のイメージ

コミュニティ



- ICTを活用したネットワーク構築
- 多言語音声自動翻訳 等

防災・治安



- 災害情報のリアルタイム発信
- 総合防災システムの運用 等

福祉



- 介護ロボット
- ICTを活用した見守りシステム 等

健康



- オンライン診療
- データヘルス 等

子育て



- SNSやアプリ等による支援情報の配信
- オンライン相談 等

教育



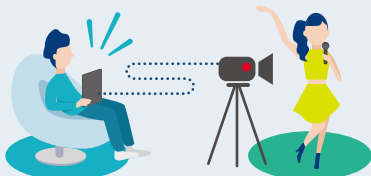
- 同時双方向オンライン指導
- 学校のICT環境整備 等

産業・観光



- キャッシュレス決済、新事業創出支援
- オンライン観光 等

文化



- イベントのリアルとバーチャルハイブリッド実施
- デジタルアーカイブ 等

都市再生



- 自動運転、MaaS
- AIによる予防保全型道路管理 等

環境



- ICTの活用によるペーパーレス化
- 新技術の活用による省エネの推進 等

デジタルガバメント



- 手続のオンライン化、定型業務の自動化
- マイナンバーカードの利活用 等

参画と協働によるまちづくり

1 参画と協働の重要性

豊島区は「自治の推進に関する基本条例」を基軸として、公と民の連携によるまちづくりを積極的に進めています。社会課題がこれまで以上に複雑化・多様化する中で、区民のニーズに的確に応え、持続可能な地域経営を行っていくために、参画と協働の重要性はますます高まっています。公と民が連携しやすい仕組みをつくり、地域における様々な社会課題の解決につなげるとともに、新たな価値を創出することが求められています。

2 参画の推進と情報共有

区民の主体的な意思に基づく参画を推進するためには、区民及び区が相互に情報を提供・共有するとともに、区政における参画の機会を確保することが必要です。

① 説明責任と透明性の向上

行政が情報を広く提供することは、区民の知る権利を保障するだけでなく、区政への区民参加や協働のまちづくりへの前提条件です。より分かりやすく使いやすいかたちでの区政情報の共有や、行政情報公開制度、個人情報保護制度の適切な運用を徹底します。

② 区民の声の反映

コールセンター、広聴部門などへの意見・要望を精査し、区政運営の改善に生かすとともに、パブリックコメント制度の適切な運用を始めとして、政策の立案、実施及び評価の各プロセスにおいて、分かりやすいかたちでの情報提供や意見・要望の反映に努めます。

3 彩り豊かな多様な主体による協働の推進

協働によるまちづくりを進めるには、地域社会の多様な主体が、対等な協力関係と役割分担に基づき、共通の目的の実現に向けて連携・活動することが必要です。豊島区には個性豊かな主体が数多く存在しており、セーフコミュニティの国際認証取得や東アジア文化都市の開催においても、人々の団結が大きな推進力となりました。今後はさらに多様な主体と行政とが知恵と力を結集し、「オールとしま」として、あらゆる分野での連携を深めていきます。

4 多様性の尊重

協働を進める前提として、年齢や性別、国籍、心身の状況、社会的・経済的状況等に配慮し、個性を尊重することが必要です。また、豊島区は住民の約1割を外国籍の方が占めており、国際文化都市として、グローバルな視点を持ち、多文化共生施策を推進することが求められています。国際アート・カルチャー都市、そしてSDGs未来都市として、多様性を幅広く尊重し、誰をも受け入れ、誰からも受け入れられるまちづくりを進めていきます。

5 参画と協働、そして共創へ

基本構想では「さまざまな人々と共に生き、共に責任を担う協働・共創のまちづくりの推進」を掲げています。「協働」「共創」の定義にはさまざまな考え方がありますが、「共創」は協働と比較して、多様な主体がより自主的・自律的に活動し、区民や民間企業等の主導により、地域課題の解決や魅力・価値の創出に取り組む、一步進んだ連携のあり方ととらえることができます。豊島区は、参画と協働、そして共創の理念のもと、確かなパートナーシップを築くコミュニケーションの深化に努め、あらゆる主体が参画・協働し、自律的な好循環が生まれる持続可能な社会の構築を目指します。



国際アート・カルチャー都市の実現に向けて





これまで豊島区では、さまざまな逆境が立ちはだかるたびにピンチをチャンスに変え、その集大成として、「国際アート・カルチャー」都市づくりを推進してきました。新型コロナウイルス感染症を始めとする新たな逆境に対しても、これまでのまちづくりで築いた「オールとしま」の確かな土壌を基礎として、さらに発展的に都市の魅力を高め、誰一人取り残さない、誰もが主役になれる、持続発展するまちを目指していきます。

施策の体系

地域づくりの方向	政策	施策
1 あらゆる主体が参画しながらまちづくりを実現していくまち	(1) 地域力の向上に向けた参画と協働の推進	① 地域における区民参画・協働の推進 ② 地域における活動・交流拠点の充実
	(2) 多文化共生の推進	① 在住外国人の暮らしへの支援 ② 共生意識の醸成と交流の促進
2 多様性を尊重し合えるまち	(2) 平和と人権の尊重	① 平和と人権意識の普及・啓発
	(3) 男女共同参画社会の実現	① あらゆる分野における男女共同参画の推進 ② 女性が輝くまちの推進 ③ 配偶者等暴力防止対策の充実
	(1) 地域福祉の推進	① 福祉コミュニティの形成 ② 重層的・包括的なケア基盤の充実 ③ 福祉サービスの質の向上と権利擁護の推進
3 すべての人が地域で共に生きていけるまち	(2) 地域における自立生活支援	① 日常生活への支援 ② 就労支援の強化 ③ 社会参加の促進 ④ 健康づくり・介護予防の推進
	(3) 健康な生活の維持・増進	① がん・生活習慣病対策等の推進 ② ころと体の健康づくりの推進 ③ 健康危機管理の強化 ④ 地域医療体制の充実
	(1) 子どもの自己形成・参加支援	① 子どもの社会参加・参画の促進 ② 困難を有する子ども・若者やその家庭への支援 ③ 虐待や暴力から子どもを守る取組の強化
4 子どもを共に育むまち	(2) 子ども・子育て支援の充実	① 地域の子育て支援の充実 ② 保育施設・保育サービスの充実
	(3) 学校における教育	① 確かな学力の育成 ② 豊かな心の育成 ③ 健やかな体の育成 ④ 一人一人を大切にす教育の推進 ⑤ 教師力の向上と魅力ある学校づくり
	(4) 家庭と地域の教育力の向上	① 家庭教育の支援 ② 地域と学校の連携・協働の仕組みづくり ③ 地域教育力との連携
	(5) 生きる力の土台となる就学前教育の充実	① 人格形成の基礎を培う教育・保育の提供

地域づくりの方向	政策	施策	
5 みどりのネットワークを形成する環境のまち	(1)みどりの創造と保全	① みどりの活動拠点の創造・育成	② みどりのネットワークの形成
	(2)環境の保全	① 脱炭素地域社会づくりの推進 ③ 地域美化の推進	② 自然との共生の推進 ④ 都市公害の防止
	(3)ごみ減量・清掃事業の推進	① 3Rの推進	② 安定的で適正なごみ処理の推進
6 人間優先の基盤が整備された、安全・安心のまち	(1)文化と魅力を備えたまちづくり	① 地域の特性を生かした市街地の形成 ③ 活力ある地域拠点の再生	② 池袋副都心の再生 ④ 居心地が良く歩きたくなる空間づくり
	(2)魅力ある都心居住の場づくり	① 安全・安心に住み続けられる住まいづくり	② 良質な住宅ストックの形成
	(3)魅力を支える交通環境づくり	① 総合交通戦略の推進 ③ 自転車利用環境の充実	② 道路・橋梁の整備と維持保全
	(4)災害に強いまちづくり	① 災害に強い都市空間の形成 ③ 被害軽減のための応急対応力向上 ⑤ 総合治水対策の推進	② 自助・共助の取組への支援 ④ 無電柱化の推進
	(5)日常生活における安全・安心の強化	① 治安対策の推進	② 交通安全対策の推進
7 魅力と活力にあふれる、にぎわいのまち	(1)産業振興による都市活力創出	① 新たな価値を生み出すビジネス支援 ③ 権利と責任による消費者市民社会の形成	② 地域産業の活力創出
	(2)観光によるにぎわいの創出	① 観光資源の発掘と活用 ③ 交流都市との共生の推進	② 魅力的な観光情報の発信強化 ④ 多様な来街者の受入環境の整備
8 伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち	(1)アート・カルチャーによるまちづくりの推進	① 文化芸術の鑑賞・参加機会の創出	② 地域文化・伝統文化の継承と発展
	(2)生涯学習・生涯スポーツの推進	① 多様な学習活動の支援と学びの循環の創造	② スポーツ・レクリエーション活動の推進

あらゆる主体が参画しながらまちづくりを実現していくまち

[政策1-1]

地域力の
向上に向けた参画と
協働の推進



地域づくりの方向 の概要

- 地域課題の解決に向けて、公民による協働や地域団体の相互連携を推進していきます。
- 地域の担い手として、多様な人々・団体の積極的な活動を支援し、地域活動を活性化していきます。
- 地域区民ひろばや地域活動交流センターなど地域活動の拠点において、様々な地域団体の活動や団体間の連携及び交流が活発に展開されるよう支援していきます。

[施策]

- ① 地域における区民参画・協働の推進
- ② 地域における活動・交流拠点の充実

[主な取組]

地域団体等との協働及び相互連携の推進



社会貢献活動見本市

区政連絡会の充実



合同区政連絡会

SDGsの拠点としての地域区民ひろばの発展



区民ひろば×SDGs

多様性を尊重し合えるまち

[政策 2-1]

多文化共生の推進

[施策]

- ① 在住外国人の暮らしへの支援
- ② 共生意識の醸成と交流の促進

[主な取組]

多様な言語による情報の発信



多言語翻訳機器を活用した窓口対応

交流事業を通じた共生意識の醸成



区民ひろばでの音楽祭の様子



[政策 2-2]

平和と人権の尊重

[施策]

- ① 平和と人権意識の普及・啓発

[主な取組]

関係機関・団体との連携による平和・人権意識の啓発



丸木美術館「原爆の図」

地域づくりの方向 の概要

- 国籍や人種を超えて理解しあい、共に暮らすコミュニティをつくります。
- 年齢や性別、障害の有無にかかわらず社会参加できる、人々の善意が触れ合う地域社会をつくります。
- 性別等にかかわらず、誰もが平等に参画できる社会をつくります。



[政策 2-3]

男女共同参画社会の実現

[施策]

- ① あらゆる分野における男女共同参画の推進
- ② 女性が輝くまちの推進
- ③ 配偶者等暴力防止対策の充実

[主な取組]

区民主体の男女共同参画の推進



エポック10フェスタ

暴力を容認しない地域づくりの推進



「DV相談周知カード」



人権週間パネル展

地域づくりの方向 ③ 高齢者・障害者等福祉／健康・医療

すべての人が地域で共に生きていけるまち



[政策3-1]

地域福祉の推進

[施策]

- ① 福祉コミュニティの形成
- ② 重層的・包括的なケア基盤の充実
- ③ 福祉サービスの質の向上と権利擁護の推進

[主な取組]

ケア基盤の基礎となる住まいやサービスの整備



特別養護老人ホーム池袋ほんちょうの郷

新たな支え合いの推進とコミュニティソーシャルワーク機能の強化



CSWなんでも相談

成年後見制度の利用促進



豊島区成年後見制度利用促進専門委員会

[政策3-2]

地域における自立生活支援

[施策]

- ① 日常生活への支援
- ② 就労支援の強化
- ③ 社会参加の促進
- ④ 健康づくり・介護予防の推進

[主な取組]

障害者の就労支援の推進



就労支援の様子

地域づくりの方向 の概要

- 高齢社会において、だれもが、意欲・能力をいかして活躍でき、安心して暮らし続けることのできるまちづくりを実現するため、これまで区が培ってきた力を最大限に生かし、地域や関係機関とともに先駆的な取組を進めていきます。
- 区民参画のもと、地域の様々な主体がネットワークを構築し、必要なサービスが重層的・包括的に提供されるような支援体制を整備していきます。
- 住み慣れた地域で自立して生活できるよう、様々な在宅福祉サービスの充実と合わせて日常生活支援体制の整備を推進します。
- 地域の団体等と協働した健康づくりの取組を支援していくとともに、健康に関する多様な情報を発信し、区民が健康づくりに自主的に取り組めるような環境を整備していきます。



見守りと支え合いの拡充



訪問相談の様子(高齢者アウトリーチ事業)

主体的に健康づくり・介護予防に取り組む環境づくりと相談支援体制の充実



フレイルチェック



[政策 3-3]

健康な生活の維持・増進

[施策]

- ① がん・生活習慣病対策等の推進
- ② こころと体の健康づくりの推進
- ③ 健康危機管理の強化
- ④ 地域医療体制の充実

がんの早期発見や患者支援の充実と受動喫煙のない環境づくりの実現



がん検診PR

[主な取組]

切れ目のない支援による乳幼児や女性の健康づくり



ゆりかご面接

災害時にも安心できる迅速かつ適切な医療体制の構築



緊急医療救護所訓練

地域づくりの方向 ④ 子ども・若者／子育て／教育

子どもを共に育むまち

[政策4-1]

子どもの
自己形成・
参加支援



[施策]

- ① 子どもの社会参加・参画の促進
- ② 困難を有する子ども・若者やその家庭への支援
- ③ 虐待や暴力から子どもを守る取組の強化

[主な取組]

子どもの意見表明・参加の促進



としま子ども会議

区の児童相談所と子ども家庭支援センターの両輪による児童虐待予防の強化



児童相談所イメージ

[政策4-2]

子ども・
子育て
支援の充実



[施策]

- ① 地域の子育て支援の充実
- ② 保育施設・保育サービスの充実

[主な取組]

子ども家庭支援センターの充実



子ども家庭支援センター

すべての幼児教育・保育施設における保育の質の向上



IKeBUSを活用した園外保育の充実

地域づくりの方向 の概要

- 子どもの権利が尊重され、すべての子どもが自分らしくのびのびと育つ環境づくりをすすめます。
- 区民ニーズを的確に捉えながら、地域に根ざした多様な子ども・子育て支援事業を提供します。
- 子ども一人ひとりの成長と子育てを地域全体が温かく見守り、支援していくネットワークを整備します。
- 地域でのさまざまな体験学習を通した温もりのある教育を充実させます。
- 個性を尊重し、社会性を培う学校教育を目指します。

[政策4-3]

学校における 教育



[施策]

- ① 確かな学力の育成
- ② 豊かな心の育成
- ③ 健やかな体の育成
- ④ 一人一人を大切にする教育の推進
- ⑤ 教師力の向上と魅力ある学校づくり

[主な取組]

計画的な学校改築・改修の実施



池袋第一小学校新校舎イメージ

[政策4-4]

家庭と地域の 教育力の向上



[施策]

- ① 家庭教育の支援
- ② 地域と学校の連携・協働の仕組みづくり
- ③ 地域教育力との連携

[主な取組]

地域ぐるみで学校を支援する仕組みづくり



地域・保護者による見守り活動

[政策4-5]

生きる力の土台となる 就学前教育の充実



[施策]

- ① 人格形成の基礎を培う教育・保育の提供

[主な取組]

就学前教育・保育内容の充実



感性を養う幼児教育

地域づくりの方向 ⑤ 環境／ごみ減量・清掃

みどりのネットワークを形成する環境のまち



[政策5-1]

みどりの創造と保全

[施策]

- ① みどりの活動拠点の創造・育成
- ② みどりのネットワークの形成

[主な取組]

地域とともに作り育つ公園づくり



モバイル遊具の設置(駒込七丁目第2児童遊園)

公園を核とした国際アート・カルチャー都市のメインステージの育成



photo Forward Stroke inc.

イケ・サンパーク(としまみどりの防災公園)の運営

多様な主体の連携・協働による緑化の推進



池袋本町電車の見える公園「いのちの森」育樹活動

[政策5-2]

環境の保全

[施策]

- ① 脱炭素地域社会づくりの推進
- ② 自然との共生の推進
- ③ 地域美化の推進
- ④ 都市公害の防止

[主な取組]

学習・参加機会の提供



協定自治体との環境交流事業

地域づくりの方向 の概要

- 自然環境や生活環境と地域の発展とが調和し、地球環境にやさしく、魅力ある清潔で美しいまちを目指します。
- みどりの活動拠点づくりを行うとともに、身近なみどりを増やし、いのちと暮らしを支え、生物多様性を守ります。
- 区民が主体的に取り組むみどりの価値を再認識する仕組みを整備します。
- 水・エネルギー資源等の有効利用、3Rや適正なごみ処理など環境に対する取組を総合的に展開し、循環型社会への転換を進めます。



区民・事業者の環境配慮行動の促進



クール・チョイス啓発(としまエコライフフェア)

多様な主体による環境美化活動の推進



としまシルバースターズ

[政策 5-3]

ごみ減量・清掃事業の推進



[施策]

- ① 3Rの推進
- ② 安定的で適正なごみ処理の推進

先進的なリサイクルと分かりやすい分別の推進



プラスチック資源の分別収集(イメージ)

[主な取組]

美観と衛生が保たれた快適な都市空間の構築



不法投棄の巡回パトロール

地域づくりの方向 ⑥ 都市再生／住宅／防災・治安

人間優先の基盤が整備された、安全・安心のまち

[政策6-1]

文化と魅力を
備えた
まちづくり



[施策]

- ① 地域の特性を生かした市街地の形成
- ② 池袋副都心の再生
- ③ 活力ある地域拠点の再生
- ④ 居心地が良く歩きたくなる空間づくり

[主な取組]

首都機能の一翼を担う国際性の高い拠点の形成



池袋駅西口整備のイメージ

池袋駅西口地区市街地再開発準備組合提供
※現時点での想定であり、今後の協議により変更となる場合があります。

ウォーカブルなまちづくりの推進



歩道空間整備後の公民連携イベント開催

[政策6-2]

魅力ある
都心居住の
場づくり



[施策]

- ① 安全・安心に住み続けられる住まいづくり
- ② 良質な住宅ストックの形成

[主な取組]

住み慣れた地域での安定した居住の確保



区営住宅(千早四丁目アパート)

マンションの適正管理の推進



マンション管理セミナー

地域づくりの方向 の概要

- 次世代に誇れる文化と魅力を備えた都市を創り出します。
- ライフステージに応じて安全・安心に暮らし続けられる都心居住を実現します。
- 人と環境に優しい交通ネットワークを形成します。
- まちの基盤や地域の防災力の向上、効率的なエネルギー利用などにより、安全・安心のまちづくりを進めます。
- 犯罪や事故などを未然に防ぎ、安全・安心に生活できる地域づくりを進めます。



[政策 6-3]

魅力を支える 交通環境づくり

[施策]

- ① 総合交通戦略の推進
- ② 道路・橋梁の整備と維持保全
- ③ 自転車利用環境の充実

[主な取組]

誰もが歩きたくなる歩行者空間の創出



グリーン大通り広場化イメージ



[政策 6-4]

災害に強い まちづくり

[施策]

- ① 災害に強い都市空間の形成
- ② 自助・共助の取組への支援
- ③ 被害軽減のための応急対応力向上
- ④ 無電柱化の推進
- ⑤ 総合治水対策の推進

[主な取組]

複合災害に対応した各種訓練の実施



区立中学校における防災教育



[政策 6-5]

日常生活における 安全・安心の強化

[施策]

- ① 治安対策の推進
- ② 交通安全対策の推進

[主な取組]

地域防犯力の向上



環境浄化パトロール

魅力と活力にあふれる、にぎわいのまち

[政策7-1]

産業振興による 都市活力創出



[施策]

- ① 新たな価値を生み出すビジネス支援
- ② 地域産業の活力創出
- ③ 権利と責任による消費者市民社会の形成

[主な取組]

事業者に応じた多面的なビジネス支援



公民連携の相談窓口
「としまビジネスサポートセンター」

起業支援の強化・充実



女性起業家・スタートアップ支援

連携の推進とにぎわい向上への支援



商店街のイベントの様子

消費者の「つかう責任」に関する啓発の充実



講演会の様子

地域づくりの方向 の概要

- 東京を代表する都市かつ、より多くの来街者を迎える国際文化都市として、商工業、観光、文化、交流を中心とした多様な機能が集約した都市づくりを目指します。
- 地域の文化的魅力がたくさん詰まった豊島区は、独自の魅力的な文化を生かすとともに、地方都市との交流によって共生を推進し、次世代へ引き継いでいける国際文化・観光都市を実現していきます。

[政策7-2]

観光による にぎわいの創出



[施策]

- 1 観光資源の発掘と活用
- 2 魅力的な観光情報の発信強化
- 3 交流都市との共生の推進
- 4 多様な来街者の受入環境の整備

[主な取組]

としまオンリーワンブランドの定着



IKEBUSアトカルツアー

魅力的なコンテンツの発掘と活用



トキワ荘マンガミュージアム

回遊性の促進とナイトタイム・エコノミーの活性化



ナイトライフ観光推進事業
(Tokyo Music Evening Yube)

交流都市との事業継続と新しい交流の形の構築



ファーマーズマーケット事業

伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち

[政策8-1]

アート・カルチャーによる まちづくりの推進



[施策]

- ① 文化芸術の鑑賞・参加機会の創出
- ② 地域文化・伝統文化の継承と発展

[主な取組]

誰もが文化芸術を鑑賞できる機会の充実



あらゆる人々の文化芸術活動への参加



文化資源を持続的に保存・活用する取組の推進



誰もが地域文化を継承し、誇りと愛着を高める事業の強化



地域づくりの方向
の概要

- 豊島区が誇る文化芸術を次世代に継承し、多様性のある、まち全体が舞台となり、誰もが主役となれるまち「国際アート・カルチャー都市」を目指します。
- 地域の歴史や伝統文化を再発見し、守り伝え、新しい文化の創造に努めるとともに、区民が主体的に行う文化活動を支援します。
- 文化や芸術の息づく、生涯にわたって学び続け、スポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくりを進めます。

[政策8-2]

生涯学習・
生涯スポーツの推進

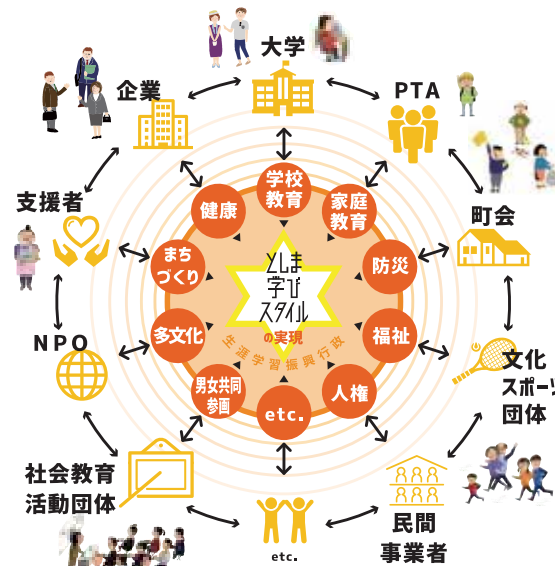


[施策]

- ① 多様な学習活動の支援と学びの循環の創造
- ② スポーツ・レクリエーション活動の推進

[主な取組]

学習活動の組織化とネットワークの支援



学びの循環(わ)のイメージ

多様なニーズに対応したスポーツ参加機会の拡充



スポーツ活動の基盤となる環境整備



旧第十中学校跡地 野外スポーツ施設の整備
(管理棟イメージ)

取組の概要

- 日本は人口減少社会に入り、将来的には豊島区も人口減に転じることが想定されます。これからの区政は、少子高齢・低成長社会において、SDGsの推進やデジタル技術の発展など急速な社会の変化や新たな潮流に、迅速かつ的確に対応していくことが強く求められています。
- 豊島区では、これまでも区民目線での行政運営、様々な主体との参画と協働による分かりやすい区政の推進に取り組んできました。地域が必要とする公共のニーズがさらに多様化し、増加していくことが見込まれる中、行政経営のあり方にも新しい視点を取り入れながら、不断の改革を行っていく必要があります。
- 豊島区は、日本の推進力となる「SDGs未来都市」としての発展を通して、さらなる輝きを放つ「国際アート・カルチャー都市」を目指す都市像とし、区制施行90周年、100周年に向けて、豊島新時代を切り拓く新たなステージを迎えています。
- 限りある経営資源の中で、行政の役割を確固として果たし、参画と協働の仕組みを発展させながら、目指す都市像の実現や様々な施策の着実な推進を支える行政経営を展開していきます。

1 スリムで変化に強い行政経営システムの構築

2 適正な定員管理

3 デジタルガバメントの構築

4 持続可能な財政構造の確立

5 まちの魅力を高め、
区民の生活を支える戦略的な情報発信

6 公共施設等の総合的かつ
計画的なマネジメントの推進



SDGs

TOPICS

多種多様なSDGs推進活動の中から、その一部をご紹介します。

SDGsシンボルモニュメントの整備

SDGs未来都市としての豊島区を、幅広く周知することを目的として、グリーン大通り五差路交差点にモニュメントを設置しました。持続可能なまちづくりを推進する豊島区の理念を、このモニュメントによって発信していきます。また、モニュメント設置に併せて、障害者の方々が造るSDGsのモザイク・アートや、ライン照明などを整備しました。



としまSDGs都市宣言

SDGsの理念等を踏まえた持続可能なまちづくりを公民連携により推進するため、本宣言を制定しました。令和2(2020)年10月23日、豊島区議会において全会一致で議決を行い、同年11月1日のとしま文化の日記念式典において本宣言を行いました。

宣言本文

豊島区は、人々の暮らしを豊かにする文化の力を最大限に引き出すことにより、消滅可能性都市を克服し、持続的に発展していく都市の未来像として「国際アート・カルチャー都市」を掲げ、その実現に向け、地域一丸となった取組を推進しています。

SDGs(国連で採択された2030年を年限とする国際目標)が示す17の目標に挑戦し、個性あふれる地域社会として活力を高め、誰もが笑顔あふれる社会の実現に向けて行動する豊島区の一連の取組は、SDGsの理念や将来像とまさに考えを一つにするものです。

私たちは、SDGsの実現に向け、地域の多様な主体とのパートナーシップにより、国際的視点で考え、地域主体で行動し、経済・社会・環境の好循環が生まれる持続可能なまちづくりを更に推進します。

より良い未来をこれからの世代に引き継いでいけるよう、私たち一人ひとりがSDGsの理念である「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、行動することを宣言します。

CHECK ▶▶▶▶▶

豊島区基本計画は
WEBでご確認いただけます





豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

豊島区基本計画 概要版

2022-2025[令和4~7年度]

編集・発行

令和4(2022)年3月

豊島区政策経営部企画課

〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1

電話番号:03-3981-1111(代表)

(この印刷物は再生紙を使用しています)